

新武蔵野クリーンセンター（仮称） 緑化の考え方

1. 計画地及び周辺エリア等の緑の現況

【計画地及び周辺エリア】

- 計画地は、北側に立地する緑町ふれあい広場、緑町コミュニティセンター、武蔵野市営野球場・テニスコートが一つの街区（周辺エリア）を形成しており、公共施設によるまとまった緑量を確保しています。
- 計画地周辺には桜並木があり、緑の軸に位置付けられています。

【さらに広範な隣接エリア】

- 計画地東側は、市営プール、武蔵野総合体育館などが立地しており、公共施設の街区単位でのまとまった緑量が、確保されています。
- 計画地西側はNTT武蔵野技術開発センターが立地しており、外周の生垣化や敷地内の緑化が行われています。
- 計画地南側は、市役所・むさしの市民公園と緑町パークタウンが立地しており、まとまった緑量が確保されています。
- 計画地北側の街区は戸建て住宅地が広がっており、千川上水やかしの木公園といった公共の緑のほか、宅地内に保存樹木も存在し、接道部緑化や庭の緑化がはかられ住宅ごとに緑が育てられています。



2. 計画地及び周辺エリアと隣接する公共施設における緑の状況

- 計画地の周辺には桜が多く植えられており、大木に生長しています。
- 計画地を含む周辺エリア内の緑は、樹木が生長し樹林地のような雰囲気形成されています。
- 計画地東側に立地している総合運動場沿いに雑木林があります。



南側：桜の街路樹



東側：常緑樹が多い



北側：落葉樹が多い



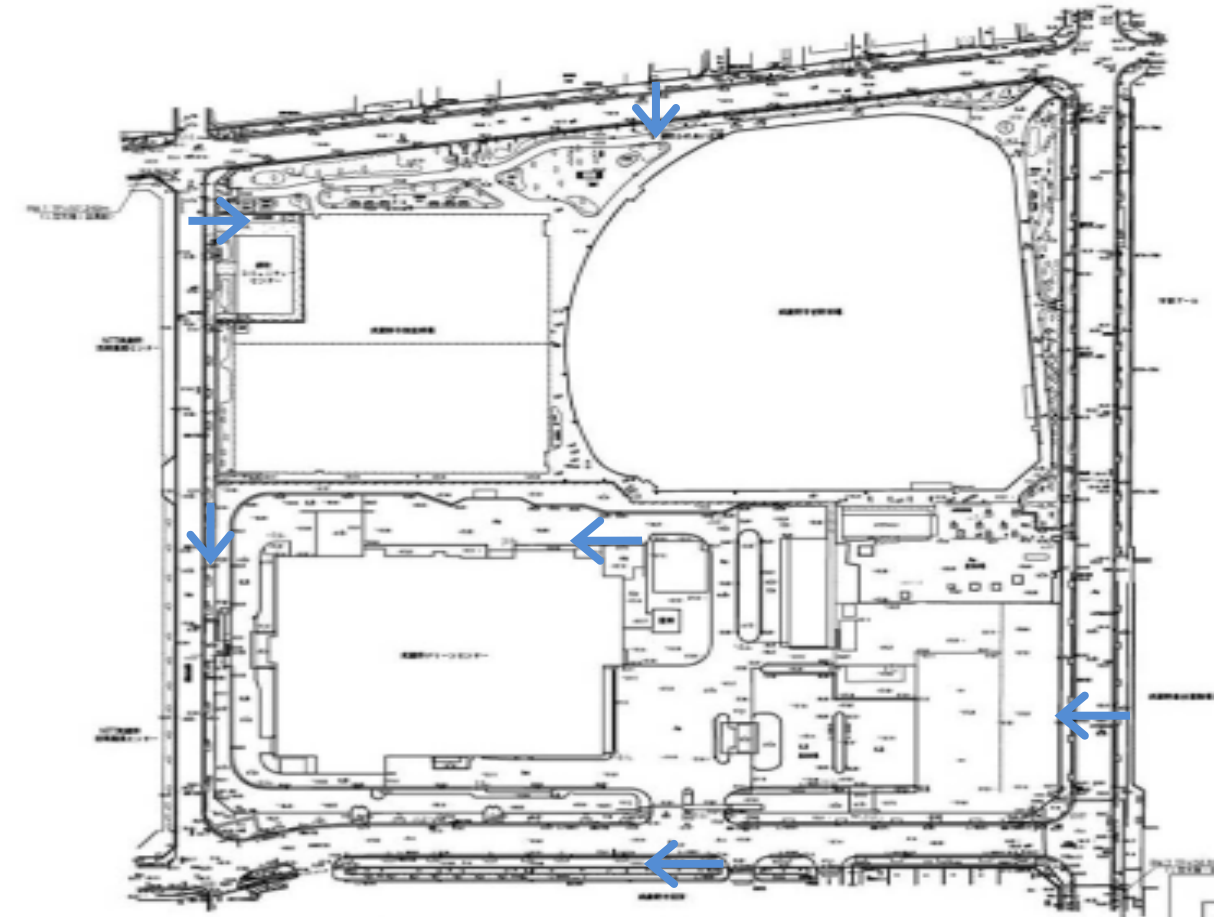
西側：桜の街路樹



常緑樹の遮蔽植栽



緑豊かな園路



3. 武蔵野市における 計画地及び周辺エリアの緑の位置付け

(武蔵野市緑の基本計画 2008 より)

- ・計画地及び周辺エリアは、市役所周辺の公共施設と共に『緑の拠点』に位置付けられています。
- ・計画地及び周辺エリアは深大寺・三鷹駅・市役所周辺・武蔵関公園を結ぶ『緑の軸』上に位置しています。

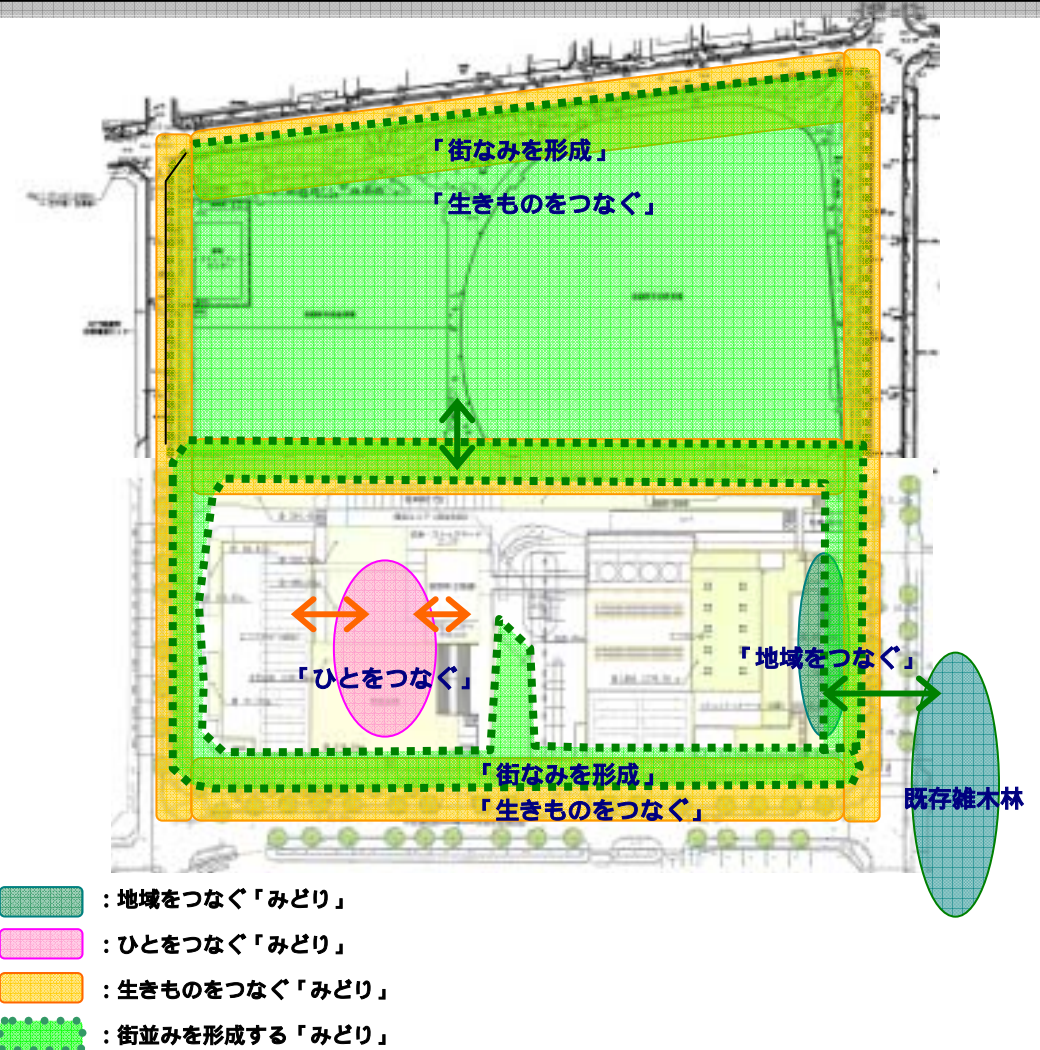


【凡例】			
	水と緑の軸		公園緑地(都市公園等)
	緑の軸(緑道)		緑の拠点(学校・公共施設)
	緑のネットワーク(遊歩道・並木)		緑の拠点(社寺・大規模施設)
	緑の拠点(にぎわい)		良好な緑地の保全・整備ゾーン
			中層住宅地の良好な緑地の保全・整備ゾーン
			良好な緑地の保全・整備ゾーン
			商業・業務地及び住居混合地の良好な緑地の保全・整備ゾーン
			不適切な商業地域の良好な緑地の保全・整備ゾーン
			保存樹木
			保存樹林

4. 計画地及び周辺エリアにおける緑化の考え方

地域・ひと・生きものをつなぎ、街並みを形成する「みどり」

- 地域をつなぐ** : 周辺に残る雑木林との連続性を保つとともに、まとまった緑地を形成します。
- ひとをつなぐ** : エコプラザと新管理棟に挟まれた芝生広場は、利用者間のコミュニティ活動の場を彩る緑化を目指します。
- 生きものをつなぐ** : 隣接する既存雑木林や野球場の緑とあわせて、鳥や昆虫が生息できる緑化を目指します。
- 街並みを形成する(建物の圧迫感を軽減)** : 接道部は高木植栽を施し、通りからの見え方をやわらげ、緑豊かな街並みを形成することを目指します。



5. 新クリーンセンターにおける緑のイメージ



・ケヤキ
・エゴノキなど

- ・ 既存樹木の活用
- ・ 明るい木もれ日さしこむ散策路



・バラ
・記念樹

- ・ バラ園の再生・友好都市記念樹の移植により、コミュニティ活動の場を彩る植栽



・クス
・コブシ
・エゴノキなど

- ・ 暗くなりがちな北面に壁面緑化を施す
- ・ ブリッジを渡る人の動きが、かいま見れるような植栽
常緑樹をアクセント的に配置



・ケヤキ
・ヤマボウシ
・ツツジ類など

- ・ コミュニティスペースを利用し、四季を彩る花もの低木主体の植栽
- ・ ポイントで雑木林を想起させるクヌギ、コナラ、ミズナラ等の高木を植栽
- ・ プラットホームの中が見える



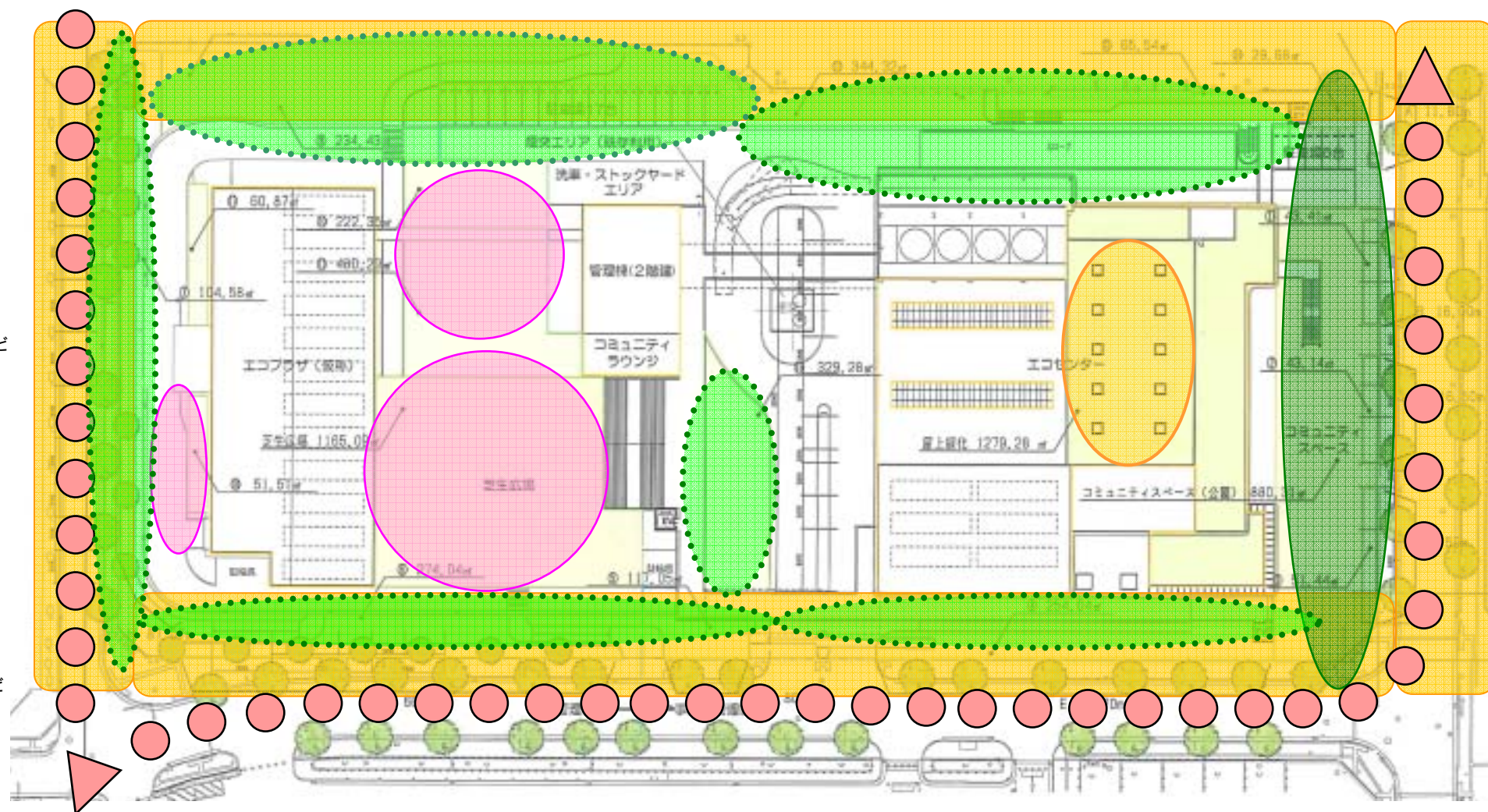
・サクラ
・ツツジ類
・ヤマボウシなど

- ・ 既存樹木の活用
- ・ 歩道の歩きやすさの提供を検討



・ヘチマ
・ゴーヤ
・アサガオなど

- ・ 夏期ガラスをおおう緑のカーテン



・サクラ

- ・ 大切にしたい地域の宝物にも選定されている桜並木は、この地域の重要な資源です。老木化が課題となっています。

- : 地域をつなぐ「みどり」
- : ひとをつなぐ「みどり」
- : 生きものをつなぐ「みどり」
- : 街並みを形成する「みどり」
- : 桜並木



・ハナミズキ
・サルズベリなど

- ・ 芝生広場、エコプラザへと導く遊歩道



- ・ 市民が交流できる、芝生広場



・コブシ
・ハナミズキなど

- ・ エコセンター入口の緩衝帯として中木を列植



・ケヤキ
・ヤマモミジ
・ハナミズキなど

- ・ 建物ファザードを引き立て、町なみに潤いを与える常緑高木主体の植栽
- ・ 建物の圧迫感を軽減する植栽



・ 柑橘系亜高木など

- ・ 昆虫の住処として、チョウの幼虫が食べる樹種を植栽(屋上緑化)

6. 周辺エリアにおける緑のイメージ

A



- ・ツツジ類
- ・アジサイ
- ・ユキヤナギなど

- ・ と連続する歩行者空間
- ・ 緑町コミセン側との連続を意識

B



- ・ケヤキ
- ・エゴノキ
- ・ムクノキなど

- ・ 緑町コミセン等への玄関となる木漏れ日の空間

C



- ・マテバシイ
- ・ツツジ類

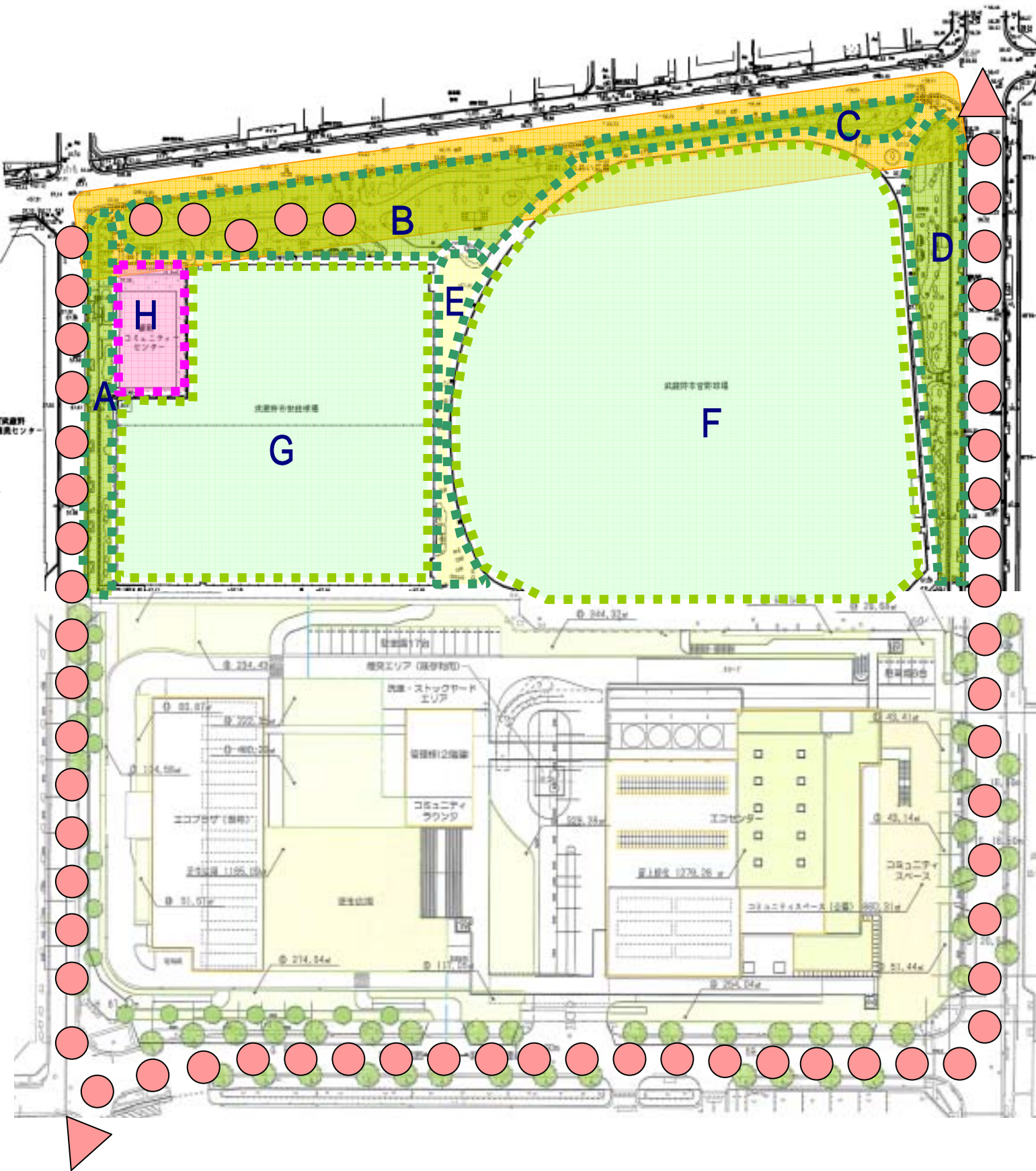
- ・ 雑木林の中の遊歩道

D



- ・サクラ
- ・ケヤキ
- ・エゴノキ
- ・ムクノキなど

- ・ 豊かな植栽の中のベンチ



E



- ・ 野球場とテニスコートとエコセンターをつなぐ明るく開放的な遊歩道

F



- ・ 緑で囲まれた野球場（天然芝）

G



- ・ 緑で囲まれたテニスコート

H



- ・サクラ
- ・クチナシ
- ・ツツジ類
- ・ユキヤナギ

- ・ 既存樹木を活かすとともに、緑町コミセンの玄関口を彩り四季を演出する花ものを主体とした植栽へ